

2015 年 4 月 10 日
株式会社セキュアブレイン

セキュアブレイン、警視庁の「ネットバンキングウイルス無力化作戦」に技術協力

株式会社セキュアブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:成田 明彦、以下「セキュアブレイン」)は、警視庁が先ごろ実施した、ボットネットをテイクダウンする取り組み「ネットバンキングウイルス無力化作戦」において技術協力を行いました。

2014年にネットバンキングにおける不正送金の被害額は29億1000万円で、過去最悪だった2013年の被害額の倍の金額になっています。これらの攻撃の主な手口は、ネットバンキングを利用するユーザのPCにウイルスを感染させ、PCを乗っ取ることで、振込時に必要な情報を盗み、その情報を元に不正送金を行うという手口です。

警視庁サイバー犯罪対策課は、主に日本を標的としているとみられるウイルスの感染端末に関する情報を入手し、世界で約82,000台、うち国内で約44,000台の端末を特定し、「ネットバンキングウイルス無力化作戦」と名付けた、ウイルス感染端末の不正送金被害を防ぐための対策を実施しました。

今回警視庁が特定したウイルスの感染端末が、不正送金を実行できないように、ウイルスを無力化する対策において、セキュアブレインは技術協力を行いました。

警視庁のネットバンキングウイルス無力化作戦の実施については以下をご覧ください。

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/haiteku/haiteku504.htm>

セキュアブレインは、金融機関向け不正送金対策ソリューション「PhishWall(フィッシュウォール)クライアントレス」、「PhishWallプレミアム」を開発している国産のセキュリティベンダーです。自社内に先端技術研究所を設置し、経験豊富なマルウェア研究者が複雑化するネット犯罪を調査・研究しているため、国内で新たな攻撃が発生した際にも迅速な対応が可能です。このような実績が評価され、セキュアブレインは、2014年9月16日に警視庁とネット犯罪の未然防止、被害拡大防止において相互協力をする協定を締結しています。

セキュアブレインは、ネットバンキングの不正送金に使用されるコンピュータ・ウイルスの情報や対策において、今後も警視庁と連携を行ってまいります。

以上

セキュアブレインについて:

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、Web サービスを提供する事業者や企業に IT セキュリティを届ける、サイバーセキュリティ専門会社です。「ネット犯罪からすべての人を守る」というミッションのもと、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する、日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、<http://www.securebrain.co.jp> をご覧ください。

◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆

株式会社セキュアブレイン 広報担当: 丸山 芳生(まるやま よしお)

e-mail: info@securebrain.co.jp 電話: 03-3234-3001、FAX: 03-3234-3002

東京都千代田区麹町 2-6-7 麹町 RK ビル 4F